

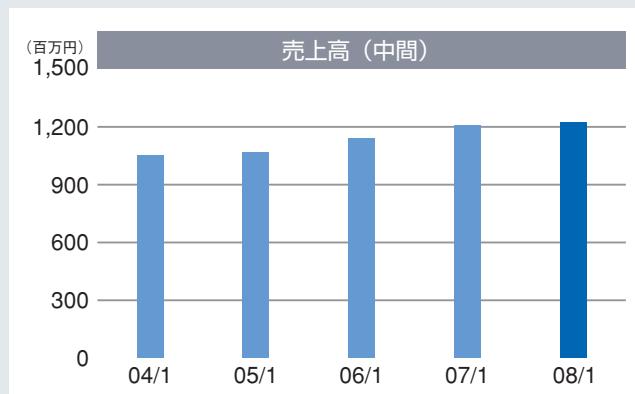
# PLANET Letter

中間期の概要

2007年8月1日～2008年1月31日



## 財務ハイライト



### ● 売上高

当社では従来に引き続き、主要サービスである「EDIサービス」の利用率・利用企業数増加に向けての活動やメーカーと流通業を結ぶマーケティングネットワークである「バイヤーズネットサービス」の普及を積極的に行いました。

この結果、当中間期間の売上高は1,224百万円(前年同期比1.3%増)、営業利益は252百万円(前年同期比15.1%増)となりました。



### ● 経常利益

当社では、主要な取引先である日用品雑貨業界および、その隣接業界への深耕はもちろんのこと、日用品雑貨や大衆薬などの取り扱いが多い小売業態であるドラッグストア業界の流通システム標準化に取り組んでまいりました。

この結果、経常利益は229百万円(前年同期比1.0%増)、中間純利益は132百万円(前年同期比11.0%減)となりました。



代表取締役社長  
玉生 弘昌

### ■ 当中間期の業績と事業環境

当中間期の売上高は1,224百万円(前年同期比1.3%増)、営業利益は252百万円(前年同期比15.1%増)、経常利益は229百万円(前年同期比1.0%増)、純利益は132百万円(前年同期比11.0%減)となりました。

アメリカのサブプライムローン問題によって世界の金融市場が動揺し、株価もなかなか底を打ちません。震源地であるアメリカはもちろん、世界と日本の景気が危ぶまれているのは周知の事実です。しかし、それが日用品雑貨化粧品業界に影響があるかということ、あまりないのではないのでしょうか。もちろん、相次ぐ値上げにより、消費者に多少の節約ムードは出てくるでしょう。洗濯を数日おきにするとか、歯磨も最後の一滴まで搾る、などということはあるかもしれませんが

ん。だからといって、消費者が一切日用品雑貨を買わなくなる、売上が半分になるということはありません。需要と供給の関係の中で大きな変化はないでしょう。元々、日用品雑貨化粧品業界は「景気の影響を受けにくい」といわれている業界ですから、今後も取引は活発に推移するものと考えています。

### ■ 有望な隣接業界の開拓

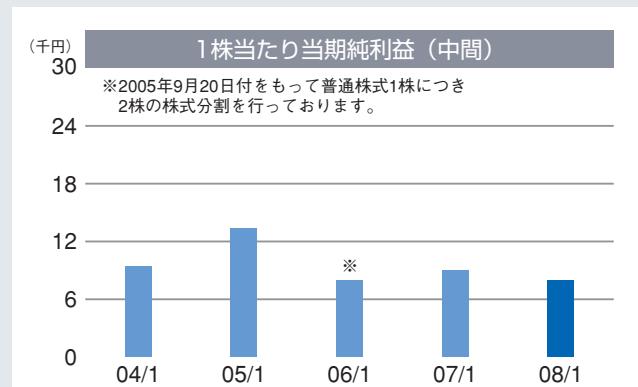
日用品雑貨化粧品に隣接する業種としてはペットフード・用品業界や介護業界があり、これらの業種は今後さらなる需要が見込まれます。特にペット関連ビジネスは1兆円産業といわれており、ペットをかわいがる消費者の高級志向は高まる一方です。今は、家の外に犬小屋を作って終わり、という時代ではありません。よりヘルシーなペットフードや高価なペット遊具

も当たり前になってきています。また、単身者や子供を持たない夫婦も増え、彼らの需要でペット数はますます増加傾向にあります。

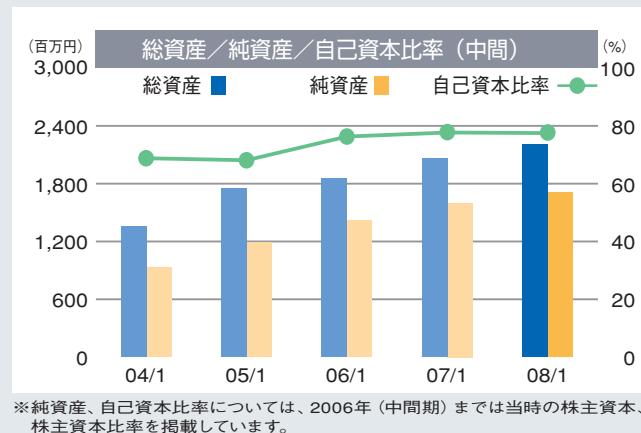
介護業界も有望な市場です。すでにプラネットは介護関係の流通業とのジョイントを進めていますが、この業界はまだ「これから」の世界なのです。現在は、病院に包帯やガーゼなどのサプライを供給している企業が併せて介護事業も手がけているという、未だに流通業が確立されているとはいいがたい状態です。それでいて需要は増えており、「いちいち電話やファックスで対応するのは大変だからプラネットでやって欲しい」といったお客様からのご要望も多いのです。

果たして、どの卸が中心になるのかもまだわからないような状況ですが、いずれ確実に中核となる卸が現れ、業界団体も組織されるでしょう。そうなれば、プ

● 1株当たり当期純利益



● 総資産／純資産／自己資本比率



ラネットにとって、非常に有利な市場展開が望めます。ペットや介護が横軸とすると、ドラッグストアなどの小売業界は縦軸の市場です。小売店側には、標準となるEDIがまだありません。卸売業と小売業のEDIシステムが形成されれば、流通におけるメーカー、卸売業、小売業と続くサプライチェーン全体が効率化するの明白で、メーカーと卸売間のデファクトスタンダードだったプラネットとしては、腕の見せ所でもあります。

■ 危機管理は「インフラ」の責務

すでに、情報セキュリティマネジメントの世界標準規格であるISO27001の認証取得をしていますが、それは当然の話で、業界のインフラを自負するプラネットとしては、万が一に備えてさまざまな手段を講じて

います。例えば、災害などで主力のシステムがダウンしても、他の地域のシステムが代わりに稼動し、被害を最小限にする体制が組まれています。主力のシステムセンターは関東大震災級の大地震に耐えるように作られてはいるのですが、念には念を入れて万全の備えをしています。そのため、バックアップデータは他の地域のシステムセンターに毎日送られています。

もちろん、主力センターと別のセンターが同時に大規模災害に見舞われる可能性はゼロではありませんが、限りなく低いと想定しています。

電力会社や水道会社の仕事と同様、プラネットは決して派手な企業ではありませんが、今後も情報系サービスの「バイヤーズネット」を始めとする新しい技術やサービスをいち早く導入し、顧客へのサービス向上に努めていきます。

■ プラネットブースの出展

成長が著しいドラッグストア業界の団体「日本チェーンドラッグストア協会」が主催する「第8回JAPANドラッグストアショー」が、2008年2月29日から3月2日の間、幕張メッセで開催されました。プラネットは現在、同協会による「チェーンドラッグストア業界流通システム標準化検討委員会」に参加しており、EDIや商品マスタ(台帳データベース)などの標準化のためのワーキンググループに参加しています。会場内のプラネットブースでは、委員会への取り組み状況や、小売業向

けのプラネット・サービスの説明をドラッグストア業界関係者の皆さまへ行いました。



■ 当社社長・玉生が講演を行いました。

「第8回JAPANドラッグストアショー」において、日本チェーンドラッグストア協会 EDI推進委員会の顧問会議座長を務めております当社社長の玉生が、ドラッグストア業界の経営トップの方々や、現場の最前線で活躍なさっている方々に、EDI

システムをわかりやすく説明いたしました。卸店と小売店との間では、いまだにEDIが定着していない現状があります。特に流通量の多いドラッグストア業界においては、EDI導入により大幅な作業の効率化が期待できます。



講演では、「EDIとはどういうものなのか」から始まり、EDI導入による成功事例やメリットを踏まえながら、参加者にEDIの特長・有用性をご理解いただきました。

今後も、業界全体の発展を目標に、業界関係者に向けてEDIシステムの理解・浸透を図ってまいります。

## ■ ユーザー会2007を開催

プラネットはユーザーとの緊密なコミュニケーションを図るための「ユーザー会」を、20年以上にわたり毎年開催しています。2007年11月に東京と大阪で開催されたユーザー会には、それぞれ152社306名、96社177名が来場しました。当日は、経済産業省が策定した「新流通産業ビジョン」を踏まえた卸売業・メーカーの対応戦略をテーマに、同ビジョン策定の中心となられた明治大学大学院の上原征彦教授が講演を行い、流通業界における業界特化型インフラであるプラネットの存在価値が改めて強調されました。またプラネット・サービスを活用した業務効率化について、導入各社による成功事例の発表が行われ、来場者間の情報共有を行いました。



※機関紙「PLANET VanVan」77号に上原教授と当社代表取締役社長・井上との対談記事がございます。  
<http://www.planet-van.co.jp/vanvan/vanvan.html/>

## PLANET Letter アンケートのご報告

前回の「PLANET Letter」では、株主様向けアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。主な項目の集計結果をご報告いたします。プラネットでは

このような株主様の声を参考にしながら、さらなる株主価値の向上、わかりやすいIR活動に努めてまいります。

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 今後の「PLANET Letter」に何を期待されますか？</li> <li>■ 今後の成長戦略・成長ドライバーがわかること</li> <li>■ 事業環境がわかること</li> <li>■ 経営者の人物像がわかること</li> <li>■ 企業や事業の収益モデルがわかること</li> <li>■ 詳しい財務諸表、経営分析数値があること</li> <li>■ 企業文化がわかること</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 投資銘柄の選定において最も重視されることは何ですか？</li> <li>■ 競争力のある商品やサービス</li> <li>■ しっかりとした成長シナリオ</li> <li>■ 高い収益性</li> <li>■ 良好な財務状況</li> <li>■ ROE・ROAなどの経営指標</li> <li>■ 配当(高配当、明確な配当政策)</li> <li>■ 今後の業績の見通し</li> </ul> |
|---|--|

今回もアンケートを実施いたします。詳しくは巻末ページをご覧ください。

各サービス内容詳細につきましては弊社ホームページからご覧いただけます。  
 ● <http://www.planet-van.co.jp/service/service.html>

## ■ 制度化化粧品\*メーカー2社

株式会社資生堂 様  
 P&G マックスファクター合同会社 様

- 課題**
- 小売業へ新商品情報を提供する方法が多様多様で、メーカーの業務負荷が大きい
  - 商品情報の提供先をコントロールできる機能が必要

### 導入効果

- 日用品でも実績のあるプラネット商品データベースを活用することで、メーカーの業務負荷を削減
- 商品情報の提供先を指定・登録できる機能により、商品情報の円滑な提供が可能に
- 国際標準のGDSに対応(GDS: メーカーと卸売業、小売業の間で商品マスターデータを常に一致させるための国際的な仕組み)

- サービス**
- **商品データベース**
- メーカーと卸売業、小売業の各社間で商品情報を効率的に共有できるデータベースで、商品の文字情報と画像情報を有しています。画像情報は商品陳列のシミュレーション(棚割)や企画書やチラシなどに用いられます。

※制度化化粧品とは・・・メーカーが取引契約を結んだ小売店に商品を提供する方法を採用している化粧品。消費者に対してカウンセリング販売(対面販売)を行うことが一般的とされる。

## ■ メーカー

株式会社B&C ラボラトリーズ 様  
 (スキンケアなどの化粧品メーカー)

- 課題**
- 自社商品の販売店舗を把握するのに手間がかかり、お客様からのお問い合わせ対応に時間がかかる
  - 卸売業から入手した販売状況の活用が不充分

### 導入効果

- お問い合わせ対応の省力化
- 日ごとに商品の販売動向を把握できるため、密度の濃いマーケティング活動が可能に
- 自社ニーズが明確になり、業務ステップアップへの道が開けた

- サービス**
- **販売レポートサービス**
- 卸売業からメーカーに送信された販売データの集計・加工をプラネットが代行し、販売実績の帳票ファイルを各社専用のネット上で提供するサービスです。オプションの配荷店舗検索では、日々の販売店舗別の納品実績を検索することが可能です。

# 財務諸表(単体) 【要旨】

## 貸借対照表

(単位:千円)

	第21期中間期 2006.1.31現在	第22期中間期 2007.1.31現在	第23期中間期 2008.1.31現在
<b>(資産の部)</b>			
流動資産	979,615	1,045,589	1,150,747
現金及び預金	708,141	745,204	837,023
売掛金	248,407	278,605	286,797
前払費用	3,606	3,606	3,606
繰延税金資産	15,746	14,611	15,999
その他	4,114	3,962	7,421
貸倒引当金	△400	△400	△100
固定資産	876,288	1,015,468	1,059,553
有形固定資産	10,284	7,459	5,426
無形固定資産	400,693	491,752	499,819
投資その他の資産	465,310	516,256	554,307
投資有価証券	251,349	306,193	329,978
関係会社株式	146,700	124,479	112,430
その他	67,261	85,586	112,034
貸倒引当金	△0	△4	△135
資産合計	1,855,903	2,061,058	2,210,301

	第21期中間期 2006.1.31現在	第22期中間期 2007.1.31現在	第23期中間期 2008.1.31現在
<b>(負債の部)</b>			
流動負債	326,889	338,982	363,583
買掛金	168,005	170,242	165,921
未払金	22,872	42,408	45,149
未払法人税等	81,763	75,675	98,469
賞与引当金	15,688	15,771	17,104
役員賞与引当金	6,000	6,000	7,250
その他	32,559	28,885	29,687
固定負債	112,617	120,611	133,353
退職給付引当金	63,752	69,634	75,826
役員退職慰労引当金	40,614	42,727	49,277
預り保証金	8,250	8,250	8,250
負債合計	439,506	459,593	496,937
<b>(純資産の部)</b>			
株主資本	1,416,397	1,548,419	1,693,589
資本金	436,100	436,100	436,100
資本剰余金	127,240	127,240	127,240
利益剰余金	791,110	986,573	1,131,743
自己株式	—	△1,494	△1,494
評価・換算差額等	61,947	53,045	19,774
その他有価証券評価差額金	61,947	53,045	19,774
純資産合計	1,416,397	1,601,464	1,713,364
負債純資産合計	1,855,903	2,061,058	2,210,301

※第21期中間期の「純資産の部」は、当該期の「資本の部」を組み替えて表示しています。

## 損益計算書

(単位:千円)

	第21期中間期 2005.8~2006.1	第22期中間期 2006.8~2007.1	第23期中間期 2007.8~2008.1
売上高	1,141,711	1,208,354	1,224,251
売上原価	557,957	586,999	553,346
売上総利益	583,753	621,355	670,904
販売費及び一般管理費	362,417	401,637	418,117
営業利益	221,335	219,717	252,787
営業外収益	7,109	7,822	20,520
営業外費用	2,392	—	43,514
経常利益	226,052	227,540	229,793
特別利益	2,101	1,000	—
特別損失	26,079	85	90
税引前当期(中間)純利益	202,075	228,455	229,702
法人税、住民税及び事業税	81,700	74,000	98,479
法人税等調整額	△11,046	5,467	△1,305
中間純利益	131,422	148,988	132,528

## 株主資本等変動計算書

(単位:千円)

第23期 中間期 2007.8~2008.1	株主資本					評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
2007年7月31日残高	436,100	127,240	1,073,816	△1,494	1,635,662	52,352	52,352	1,688,015
当中間期期中の変動額	—	—	—	—	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	△74,601	—	△74,601	—	—	△74,601
別途積立金の積立	—	—	—	—	—	—	—	—
当中間純利益	—	—	132,528	—	132,528	—	—	132,528
株主資本以外の項目の当中間期中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△32,578	△32,578	△32,578
当中間期中の変動額合計	—	—	57,927	—	57,927	△32,578	△32,578	25,348
2008年1月31日残高	436,100	127,240	1,131,743	△1,494	1,693,589	19,774	19,774	1,713,364

## キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	第21期中間期 2005.8~2006.1	第22期中間期 2006.8~2007.1	第23期中間期 2007.8~2008.1
営業活動による キャッシュ・フロー	209,705	204,390	244,262
投資活動による キャッシュ・フロー	△261,056	△126,203	△145,255
財務活動による キャッシュ・フロー	△24,819	△41,314	△74,260
現金及び現金同等物の 増加額	△76,170	36,871	24,746
現金及び現金同等物の 期首残高	784,311	708,333	812,276
現金及び現金同等物の 期末残高	708,141	745,204	837,023

# EDIサービス

## EDIサービス

従来は電話・FAXや郵送等でやりとりをしていた企業間の商取引情報をデジタル化して業務の効率化や高付加価値化をもたらすのがEDI※です。EDIは多数の利用企業間でフォーマット(書式)とコード(商品や相手先などを示す記号体系)が共通化されているほどその価値を増します。プラネットではEDIの標準化を徹底して推進しています。

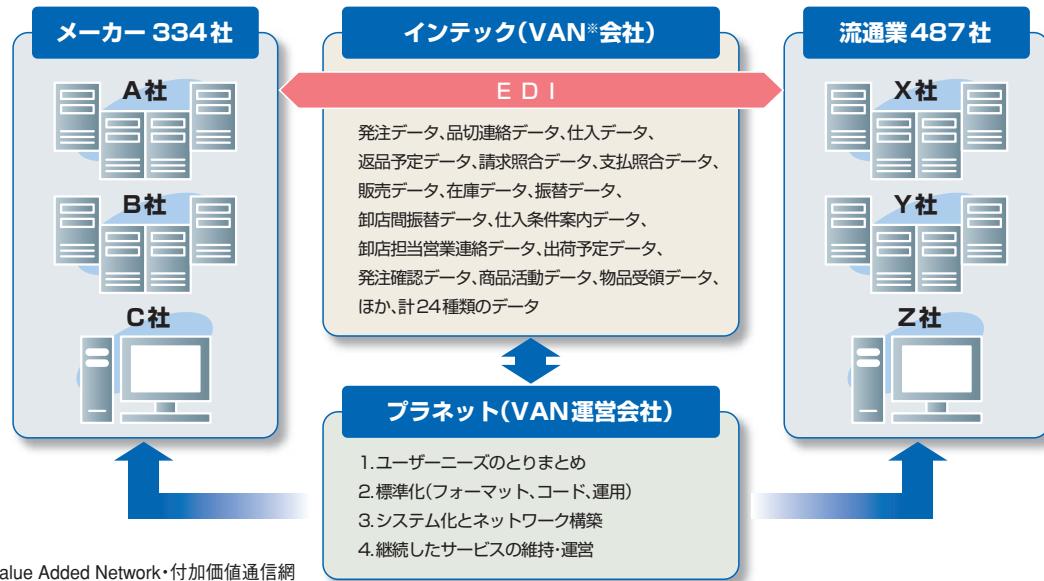
1985年の設立以来、当社は「システムは共同で、競争は店頭で」(業務効率化の面では利用企業間で協調し、商品を通じた生活者への価値提案の

面では企業間で競争を行う)を理念として、公平中立な立場で、メーカー(P10参照)と流通業へサービスを提供し、いまや、日用品化粧品などの一般消費財業界の企業間取引における合理的な情報インフラとして認められるようになっていきます。

つまりプラネットは、皆さまが店頭で買い求められる日用品を安定的に低コストでお届けする役割の一端を、社会的なシステムとして担っているのです。

※EDI=Electronic Data Interchange・電子データ交換

## プラネットのEDIサービスの概要



※VAN=Value Added Network・付加価値通信網

## プラネット参加メーカー

1	ライオン(株)	73	(株)サンギ	145	(株)伸和	217	豊田化工(株)
2	ユニ・チャーム(株)	74	やなぎプロダクツ(株)	146	イチジク製菓(株)	218	(株)ベッツルート
3	(株)エフティ資生堂	75	アデリア(株)	147	ペットライン(株)	219	日立マクセル(株)
4	サンスター(株)	76	東和産業(株)	148	日本食研(株)	220	(株)ミルボン
5	ジョンソン(株)	77	ボンスター販売(株)	149	TDKマーケティング(株)	221	ナチュラルベットのフーズ(株)
6	日本製紙クレシア(株)	78	サラヤ(株)	150	アロン化成(株)	222	デビフベツト(株)
7	エステー(株)	79	東芝電池(株)	151	サンベルム(株)	223	ニッケン文具(株)
8	牛乳石鹸共進社(株)	80	日本ロレアル(株)	152	(株)エヌケープロダクツ	224	(株)AKAISHI
9	王子ネピア(株)	81	(株)アサヒ興洋	153	(株)バンダイ	225	大幸薬品(株)
10	小林製薬(株)	82	オカモト産業(株)	154	ハウス食品(株)	226	ニッケベツトケア(株)
11	(株)白元	83	東洋アルミエコープロダクツ(株)	155	(株)三菱電機ライフネットワーク	227	エレコム(株)
12	(株)マンダム	84	オカモト(株)	156	ミヨシ石鹸(株)	228	明治屋商事(株)東京支店
13	貝印(株)	85	(株)ダイヤコーポレーション	157	ソニールプロダクツ(株)	229	(株)ターキー
14	ユニリーバ・ジャパン(株)	86	第一石鹸(株)	158	横綱工業(株)	230	持田ヘルスケア(株)
15	(株)クレハ	87	クローバー(株)	159	日本サニバック(株)	231	ヘインズブランド ジャパン(株)
16	ニッサン石鹸(株)	88	神煙養魚(株)	160	ハヤシ商事(株)	232	ボッシュロム・ジャパン(株)
17	ウエラジャパン(株)	89	ネスレビュリナベツトケア(株)	161	日本製油(株)	233	共立薬品工業(株)
18	旭化成ホームプロダクツ(株)	90	ニチバン(株)	162	中山式産業(株)	234	スリーエム・エステー販売(株)
19	ツムラ ライフサイエンス(株)	91	有本カティ(株)	163	(株)ライテック	235	常盤薬品工業(株)
20	シュワルツコフ ヘンケル(株)	92	(株)リブドゥコーポレーション	164	(株)ダンロップホームプロダクツ	236	ロゼット(株)
21	プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン(株)	93	レック(株)	165	(株)スターマイン	237	(株)ウエルコ
22	三菱アルミニウム(株)	94	コプロ(株)	166	(株)バイソン	238	(株)東和コーポレーション
23	ビジョン(株)	95	(株)伊勢半	167	(株)モルトベネ	239	富士フィルムイメージング(株)
24	(株)日本膏堂	96	花王(株)	168	エステートレーディング(株)	240	テトラジャパン(株)
25	クラシエホームプロダクツ販売(株)	97	(株)協和	169	(株)三栄水栓製作所	241	東芝コンシューママーケティング(株)
26	大日本除菌菊(株)	98	(株)タリヤ	170	ワタナベ工業(株)	242	日本配合飼料(株)
27	(株)コーセー	99	(株)ヤマヒサ	171	マルファクレンザー製造(株)	243	(株)ワコル
28	積水化学工業(株)	100	アスベル(株)	172	(株)まるき	244	徳武産業(株)
29	大王製紙(株)	101	日本ヒルズ・コルゲート(株)	173	大分製紙(株)	245	(株)シュウエム化粧品
30	松下電器産業(株)	102	久光製薬(株)	174	(株)アンズコーポレーション	246	(株)マルジョウアンドウエフク
31	ホーユー(株)	103	アイシア(株)	175	桐灰化学(株)	247	リアル化学(株)
32	アース製薬(株)	104	(株)マルカンニッソー事業本部	176	(株)セイケツネットワーク	248	(株)ブルーアンドピンク
33	オムロンヘルスケア(株)	105	(有)阿蘇アクトックス	177	(株)シンワ	249	いなばベツトフード(株)
34	日清紡績(株)	106	住軽アルミ箔(株)	178	イースター(株)	250	(株)アクセスコーポレーション
35	キュービー(株)	107	(株)ドゥ・ベスト	179	新輝合成(株)	251	(株)メディピアシステムズ
36	イミユ(株)	108	丸紅食料(株)	180	(株)ファンケル	252	リスホームリビング(株)
37	ソニーマーケティング(株)	109	丹平製薬(株)	181	カルビー(株)	253	(株)ストー
38	リス(株)	110	ニプロ(株)	182	日本ベツトフード(株)	254	花王プロフェッショナル・サービス(株)
39	テルモ(株)	111	杏林製薬(株)	183	(株)マルカン	255	(株)エーサン
40	マースジャパンリミテッド	112	(株)田窪工業所	184	スズラン(株)	256	(株)コーシー本舗
41	シック・ジャパン(株)	113	ショーワグローブ(株)	185	ドギーマンハヤシ(株)	257	三井化学ファブロ(株)
42	森下仁丹(株)	114	天馬(株)	186	ロケット石鹸(株)	258	(株)エテュセ
43	ジョンソン・エンド・ジョンソン(株) コンシューマカンパニー	115	岩崎工業(株)	187	(株)タカマツヤ	259	アサヒフードアンドヘルスケア(株)
44	ジェックス(株)	116	日本技研工業(株)	188	(株)フジボウアパレル	260	コスメテックスロラント(株)
45	(株)桃谷順天館	117	(株)テラモト	189	(株)コーチョー	261	KB フクスケ(株)
46	福助(株)	118	平和メディク(株)	190	片岡物産(株)	262	(株)ワイズ
47	FDK(株)	119	江崎グリコ(株)	191	大島糖(株)	263	日華化学(株)
48	加賀ハイテック(株)	120	明治乳業(株)	192	資生堂プロフェッショナル(株)	264	森永乳業(株)
49	ロート製薬(株)	121	(株)サンコープラスチック	193	玉川衛材(株)	265	(株)セイウ・プロ
50	(株)ラッキートレンディー	122	(株)エー・ジー	194	栄和(株)	266	小泉成器(株)
51	(株)シービック	123	(株)乳官堂	195	リブ・ラボラトリーズ(株)	267	BRITA Japan(株)
52	白十字(株)	124	パール金属(株)	196	(株)マルアイ	268	(株)ウテナ
53	日立化成フィルテック(株)	125	柳瀬ワイチ(株)	197	(株)アリミノ	269	エスエスエルヘルスケア ジャパン(株)
54	フマキラー(株)	126	(株)リッチェル	198	ユースキン製薬(株)	270	(株)ユゼ
55	(株)DNPフォトマーケティング	127	(株)サンコー	199	ジョンソントレーディング(株)	271	(株)アロイン化粧品
56	(株)井田ラボラトリーズ	128	明和グラビア(株)	200	トイレタリージャパン インク(株)	272	(株)黒ぼろ本舗
57	ジュシユ化粧品(株)	129	エビス(株)	201	常陸化工(株)	273	東洋佐々木ガラス(株)
58	(株)柳屋本店	130	タイガー魔法瓶(株)	202	(株)黒龍堂	274	(株)B&Cラボラトリーズ
59	和光堂(株)	131	(株)タダブラ	203	三菱文具(株)	275	(株)丹羽久
60	(株)リンレイ	132	(株)トクラ	204	ジェックス(株)	276	(株)マークウィンズ・インターナショナル
61	大塚製薬(株)	133	ブルジョワ(株)	205	(株)ドクターシーラボ	277	(株)メニコン
62	祐徳薬品工業(株)	134	(株)小関実業	206	タカラベルモント(株)	278	(株)シード
63	川本産業(株)	135	第一石鹸(株)九州事業所	207	(株)ミタニ	279	(株)創健社
64	(株)pdcc	136	(株)タニタ	208	(株)ロロ	280	(株)ディエイチシー
65	(株)ニトムズ	137	スケーター(株)	209	ヘンケルジャパン(株)	281	(株)龍角散
66	レブロン(株)	138	山崎産業(株)	210	アース・バイオケミカル(株)	282	エムケー精工(株)
67	アズマ工業(株)	139	アークランドサカモト(株)	211	水作(株)	283	(株)T-RexJAPAN
68	(株)オーエ	140	サン・アルミニウム工業(株)	212	(株)ピアセラボ	284	アイリス・ファインプロダクツ(株)
69	カメヤマ(株)	141	不二ラテックス(株)	213	コニシ(株)		
70	(株)ナリスアップ コスメティックス	142	イノマタ化学(株)	214	堀田(株)		
71	住友スリーエム(株)	143	積水樹脂(株)	215	はごろもフーズ(株)		
72	アイセン工業(株)	144	昭和製薬(株)	216	日清ベツト・フード(株)		ほか、合計334社利用

【公表メーカー 2008年1月末現在】参加順に表記しております。

## ■ 企業情報



パーク芝浦

■ 会社名	株式会社プラネット
■ 英文社名	PLANET, INC.
■ 主な事業内容	EDI基幹プラットフォームの構築・提供・運用
■ 本社	東京都港区海岸3-26-1 パーク芝浦
■ 設立	1985年8月1日
■ 資本金	4億3,610万円(2008年1月31日現在)
■ 従業員数	35名(2008年1月31日現在)
■ URL	<a href="http://www.planet-van.co.jp">http://www.planet-van.co.jp</a>

■ 取締役及び監査役(2008年1月31日現在)	
代表取締役社長	玉生 弘昌
代表取締役副社長	井上 美智男
専務取締役	石橋 光男
取締役	黒岩 昭雄
取締役	藤重 貞慶
取締役	石井 貞行
常勤監査役	池井 邦信
監査役	井上 展成

## 株主メモ

- 事業年度 : 8月1日から翌年の7月31日まで
- 定時株主総会: 10月に開催します。
- 基準日 : 定時株主総会の議決権 7月31日  
期末配当金 7月31日  
中間配当金 1月31日
- 公告の方法 : 日本経済新聞  
※決算公告に代えて、貸借対照表、損益計算書はEDINET(金融商品取引法に基づく有価証券報告書の開示書類に関する電子開示システム)にて開示しております。
- 株主名簿管理人: 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所: 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
- 同連絡先 : 〒137-8081  
東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話0120-232-711(フリーダイヤル)
- 同取次所 : 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店  
野村證券株式会社 全国本支店

- 執行役員(2008年1月31日現在)  
執行役員社長 玉生 弘昌  
執行役員副社長 井上 美智男  
執行役員専務 石橋 光男  
執行役員常務 染谷 実  
執行役員 長井 求  
執行役員 黒岩 昭雄  
執行役員 田上 正勝
- 監査法人 明和監査法人

### 株主さまの声をお聞かせください。

プラネットでは、アンケート調査で収集した情報をもとに、株主の皆さまの株式投資に対するお考えや当社のIR活動、当社についてのご意見などをお聞かせいただき、今後の経営やIR活動の資料として活用したいと考えています。  
アンケート調査への参加・回答は、下記の当社株主向けアンケートサイトより株主専用ログインIDを入力いただきアンケートへの回答をお願いいたします。

#### 株式会社プラネット 株主アンケートサイトURL

<https://www.sokutou.com/alexnet/planet/>

#### 株主専用ログインID

2P3L9N1T

※アンケート内容をご協力者(入力者)の株式投資に対するお考えや、当社のIR活動や当社についてのご意見などをお聞かせいただくものであり、該当商品の購入や株式の購入・売却、投資などを勧誘するものではありません。  
※アンケートにご協力いただく場合の機器、通信料、接続料等に関しては、ご協力者のご負担となります。  
※アンケートで収集した情報は、当社の経営やIR活動の改善に利用させていただきます。